2021年　11月　15日 No.217　　発行責任者 田中　孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第217号
郵政産業ユニオン PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

定年が６５歳になって

６０歳時の半分の賃金

「これ何とかしてしてくれ」の切実な声

今年4月から定年制が65歳になりました。今やどこの職場でも人員不足ですから、高齢者がいなければ職場はまわりません。経験豊富で業務に欠かせられない労働をしているのに報酬は充分ではありません。

職場から次のような声があがっています。

給料の明細書を見てガックリ

○「仕事は以前と全く同じで8時間労働を毎日やっている。それなのに給料は半分というのはどういうことか。給料が半分だったら仕事量も半分にしてほしい。年金をもらえるのが先だから仕事をせざるをえないからやっている。それにしても半分になるというのは納得できない」

○「約40年働いてきて郵政事業を支えてきた。定年が年金支給の関係から延びて辛い仕事をやっている。60歳時と同じことをやっているのに賃金は半分。一時金は以前と同じ月数になっているけども、基本給自体が下がっているから金額は半分だ。高齢になっても働きつづられるようにするためには生活できる賃金にしないとダメだ。これではモチベーションが下がるだけだ」

等です。

賃金はそのままの金額で継続されるべき

年金の支給年齢が高くなったことによって定年が延びました。これは政府の年金政策の無策から行われたものです。60歳時と同じ勤務をさせるならば賃金もそのまま継続されるべきです。

なお、国家公務員は60歳時の7割支給になってます。

国会前に1200人

11月3日、改憲を阻止する集会が国会前で行われました。衆議院選は立憲野党が後退しましたが、市民と野党の共闘は着実に前進しました。これを発展させ来年の参議院選は勝利していこうと確認。野党からは立憲民主党、共産党、社民党が挨拶。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか